

公立高校入試情報 福島県

【国語】

令和6年度福島県入試の全体傾向

- 大問1 漢字
- 大問2 短歌 俵万智『四万十に光の粒をまきながら川面をなでる風の手ひら』
- 大問2 短歌 与謝野晶子『絵日傘をかなたの岸の草になげわたる小川よ春の水ぬるき』
- 大問2 短歌 石川不二子『睡蓮の円錐形の蕾浮く池にざぶざぶと鍬洗ふなり』
- 大問2 短歌 太田青丘『たぎちつつ岩間を下る溪川の濁りもうれし春となる水』
- 大問2 短歌 村木道彦『水風呂にみずみちたればとっぷりとくれてうたえるただ麦畑』
- 大問2 短歌 雨宮雅子『蝌蚪生れし水のよろこび水の面に触れてかがやく風のよろこび』
- 大問3 古文 『呂氏春秋』
- 大問4 小説 村上雅郁『きみの話を聞かせてくれよ』
- 大問5 論説文 戸谷洋志『未来倫理』
- 大問6 作文 『「ボランティア活動の内容をどのような方法で案内するとよいか」』

例年同様、6大問構成。記述を重視する傾向があり、時間配分を想定しておくことが重要である。例年出題されている詩歌単元の単独問題は、本年は短歌だった。

■文章記述問題の対策

例年どおり、古文の文章について「授業で話し合ったときの内容」をもとに内容を読み取り、30字以内で記述させる問題が出題された。全体的に30字・60字の記述問題が多く、速く正確に必要な要素をまとめる力が必要になる。

■詩歌の問題の対策

詩歌が単独の大問として出題されるのが、本県入試の特徴である。詩・俳句・短歌などいずれのジャンルにおいても、描かれた情景や心情を問う問題が出題されている。日頃から詩歌の鑑賞に関する問題にあたり、慣れておくとうい。

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	漢語 字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう	●			
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう				
		展開をとらえよう				●
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●	●	●
		文章中の表現を味わおう	●		●	●
		話題・情報をとらえよう	●			
		指示語・接続語をとらえよう				
		文章を解釈しよう	●	●	●	●
		理由をとらえよう				●
		段落構成をとらえよう	●	●		●
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
		古文の会話・主語をとらえよう	●			
		古文の展開をとらえよう		●	●	●
		漢文・漢詩を味わおう				
	詩歌	詩・短歌を味わおう	●		●	●
		和歌・俳句を味わおう		●		
	文法	文の組み立てを知ろう				
		自立語を学ぼう		●	●	
		付属語を学ぼう	●			●
	表現・ 情報	敬語を使いこなそう			●	
		グラフ・図表を読み取ろう		●	●	●
		話し合いをとらえよう				
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別出 の題 傾向 形式		大問数	6	6	6	6
		小問数	30	30	30	30
		記号解答	11	12	12	10
		記述式解答(漢字の読み書きも含む)	19	18	18	20